



1時間目

## 選んで安心！「安全ピン」のお話



ドライクリーニング品のタグ止めに使用する安全ピン。どれも同じだと思いませんか？


**安全ピンと安心を考える**

タグ止めに安全ピンを使用しているクリーニング店さんは多いと思いますが、その安全ピン、値段だけで選んでいませんか？クリーニングで使用する安全ピンは、衣類につけたまま洗って乾燥して仕上げます。洗っている途中で安全ピンが外れてしまい、タグ番号がわからなくなってしまう経験のある方も多いかもかもしれません。また、安全ピンはほとんどの場合、鉄を原材料としていますので、錆とも無縁ではありません。お客様が仕上がった衣類を着用しようとしたとき、針の先に発生していた錆が安全ピンを外す際に衣類に付着してしまうことも。これではせっかくキレイになったお気に入りの衣類が台無しになってしまいます。クリーニング屋さんの信頼とおお客様の安心を「安全ピン」という小さな一歩から考えてみましょう。


**MADE IN JAPANの匠の技！安心品質の国産安全ピンを選ぶ**

安全ピンの安心品質を長年守っている老舗ブランドといえば「スナップイン」。国産にこだわり、現在も岐阜県内の工場生産されています。スナップインと輸入品の違いは、主に鉄の材料とメッキにあります。海外製の鉄は不純物が多く硬さや強度にバラつきが出てしまうため、スナップインは厳しい試験をクリアした国産の鉄のみを使用しています。

もう一つ特筆すべきは、メッキ。スナップインも輸入品も針を閉じた状態でメッキをかけるのは同じですが、輸入品は大量のピンを一度にメッキ槽に浸けるだけのため、メッキのかかり具合に差が出やすくなってしまいます。そのため国産のスナップインはメッキ時に振動を与えて、針先まできちんとメッキが行き渡るよう工夫をし、その工程を繰り返すことで洗っても錆びにくい安心品質を維持しているのです。



**バネが強く外れにくい！ライト強力安全ピン**


スナップインと同じ工場生産されている、ライトのオリジナル商品。バネの強さを決めるのは、鉄の硬さと線材の太さですが、同じサイズのスナップインNo.1よりも0.1mm太い線材を使用することでバネが強く、洗っている途中で外れにくい安全ピンができました。

★ 次号は「文庫紙」のお話です。お楽しみに！

株式会社 ライト